



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

多様な主体が協働するまちづくりのコーディネーター

大宮 透 (おおみや とおる)

慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター 主任研究員



○ 登録者情報

所在地

長野県小布施町

略歴

1988年山形県生まれ、群馬県高崎市出身。東京大学大学院工学系研究科修了(都市工学修士)。2013年より長野県小布施町に移住し、法政大学・小布施町地域創造研究所(現・慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター)の主任研究員として地域づくりの仕事をはじめ。地域内外の様々なアクターの協働を推進し、新しいプロジェクト構想のコーディネーターとしての役割を担う。小布施では、特に都会の若い世代をターゲットにした小布施若者会議やHLAB OBUSEなどの取り組みを仕掛け、人口1万1000人の町に多様な若者が集う環境づくりを推進している。地域活性化伝道師。

著書・論文等

「コミュニティデザイン学: その仕組みづくりから考える」(東京大学出版会)

「まちづくり条例に基づくテーマ型まちづくり提案制度の意義と課題」(都市計画論文集(47))

「大規模災害後の仮設期のまちづくりにおけるコミュニティ・スペース設置の意義: 岩手県陸前高田市に設置した「りくカフェ」を事例として」(都市計画論文集(47)) など

○ 多様な主体が協働するまちづくりのコーディネート

取組の内容

小布施町では、自治体行政や地域の中で課題となっているものを発掘し、課題解決に向けた施策立案や計画策定に関わるとともに、課題解決のプロセスに多様な主体が関わり協働的な取り組みが生まれるように、行政と地域住民、地域外の住民（特に若者）や企業、大学などの様々なアクターを繋ぐ場をデザインしています。場のデザインの具体例としては、2012年から開催している「小布施若者会議」や、長野県事業として実施した「信州つなぐらボ」の取り組みなどがあります。

実績

6年間で1500名を超える町外在住の若者と小布施町の接点をつくり、様々な協働事業の立ち上げに参画しています。

工夫した点や苦労した点

多様な主体が参画しやすいプラットフォームづくりや、地域と関わる接点としての「課題の可視化」を模索・工夫してきました。

ひとことPR

多様な背景やニーズをもつ方々が一緒に何かを生み出すための場のあり方や、そこから生まれる事業の支援・推進方法について悩んでいる方々をご相談ください。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

○	1	地域経営改革	7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化	8	若者自立支援
	3	少子化対策	9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	10	環境保全
	5	定住促進	11	その他
○	6	観光振興・交流		

関連ホームページ

小布施若者会議	http://obuse-conference.jp
信州つなぐらボ	https://shinshu-tsunagu.jp

連絡先

メールアドレス	omiya.toru[アットマーク]gmail.com	その他	
---------	-----------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。